

ていんさぐぬ花

本調子

中	合	尺	上	四	合	老	四	工	中	合	尺	上
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

四	合	老	四	工	中	合	尺	上	四	合	老	四	工
					て	い	ん	さ	ぐ	ぬ	は	な	や

中	合	六	〇	七	〇	六	七	中	合	尺	上
ちみさちにすみていうやぬゆし											

四	ぐ
合	とうやちむにすみり
老	
四	
工	
中	
合	
尺	
上	
四	
合	
老	
四	
工	

中	合	尺	上	四	合	老	四	工	中	合	尺	上
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

四	合	老	四	工	中	合	尺	上	四	合	老	四	〇
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

一、ていんさぐぬ花や爪先（ちみさち）にすみてい

親（うや）ぬ教（ゆ）し事（ぐとう）や肝（ちむ）に染みり

二、天（ていん）ぬ群星（むりぶし）や読（ゆ）みば読（ゆ）まりしが

親（うや）ぬ教（ゆ）し事（ぐとう）や読（ゆ）みやならん

三、夜（ゆる）走（は）らす船（ふに）や子（に）ぬ方（ふあ）星（ぶし）目当て（みあてい）

我（わん）産（な）ちえる親（うや）や我（わん）どう目当て（みあてい）

四、誠（まくと）うする人（ひと）や後（あと）うや何時（いち）までいん

思事（うむくとう）ん叶てい千代（ちゆ）ぬ栄い

五、宝玉やていん磨かりば錆びす朝夕肝（ちむ）みがち浮世（うちゆ）渡ら

六、なしは何事（なにぐとう）んなゆる事（くとう）やしがなさぬ故（ゆい）からどうならぬ定み